

【両面印刷】  
(大学院生は表のみで可)

授業料免除申請者票(兼受理票) 留学生以外用

学校提出

1 申請日 2024年 月 日

2 学籍番号

3 所属 学群 学種類

修士・博士前期・博士後期  
一貫制博士・3年制博士・専門職学位 課程

年次 (2024年4月1日時点の年次及び所属。総合学域群所属の学生は申請時点。)  
研究群 学位プログラム  
研究科 専攻 年次

NO.

4 申請者氏名

学群生は裏面も記入すること!

5 申請理由□にチェックしてください

- 1.一般(経済的理由) □2.事情(死亡) □3.事情(災害) □4.事情(失職) □5.事情(その他)

6 提出書類(チェックリスト)

提出する書類等は□にチェックしてください。(★印は必ず全員提出、●は該当者は必ず提出)
チェック1は全員確認、チェック2・3は書類を提出する場合のみ確認、チェック4~7は該当者のみ確認
課税証明書(非課税証明書)又は所得証明書及び独立生計者の住民票は原本を提出し、その他の書類は写しでかまいません。
【チェック1:全員確認してください。【しおりp.5参照】】
【チェック2:収入に関する書類【しおりp.7参照】】
【チェック3:特別控除に関する書類【しおりp.8、9参照】】
【チェック4:独立生計者【しおりp.5、10、11参照】】
【チェック5:修業年限超過者【しおりp.12参照】】
【チェック6:家計急変申請者【しおりp.13、14参照】】
【チェック7:特別な申請理由【しおりp.15参照】】

切り取り

授業料免除申請者票(兼受理票)

学生控 [結果発表まで保管してください]

1 申請日 2024年 月 日

2 学籍番号

3 申請者氏名

NO.

申請受理後でも、大学から申請内容の確認や追加書類の提出を指示する場合があります。

受付者記入欄

授業料免除申請者票（兼受理票） 裏面

（以下、学群生のみ記入してください。大学院生は記入不要です。）

学籍番号：

所属：

氏名：

日本学生支援機構の給付型奨学金を（下記から1つ選択してチェック）

2023年10月以降、第Ⅰ～Ⅲ区分のいずれかを受給中である。

→A様式2（修学支援新制度継続申請書）が必要。

2024年4月の募集時に新たに申請する予定である（過去に受給無し）。

→A様式1（修学支援新制度申請書）が必要。

2023年10月以降の区分が、給付対象外となった。

→A様式1およびA様式2は提出不要。

以前受給していたが、成績などを理由に廃止になった。

過去に受給したことがなく、2024年4月にも申請する予定はない。

（下記から【申請しない理由】を選択してチェック）

→A様式1およびA様式2は提出不要。

【申請しない理由】新制度の認定要件・基準については、各自で事前に確認しましょう！

高校等卒業後2年を超えてから大学に入学した等、進学までの期間が新制度の認定要件を満たしていないから（例：2019年3月に高校卒業、2022年4月に大学入学）

2024年4月時点で修業年限を超過しており、新制度の認定要件を満たしていないから

在留資格が新制度の認定要件を満たしていないから（在留資格：\_\_\_\_\_）

生計を維持する者の収入が、明らかに新制度の基準を超えている、もしくは以前新制度を申請した際に、収入が基準を超えているため不許可になったから

生計を維持する者の資産が、明らかに新制度の基準を超えている、もしくは以前新制度を申請した際に、資産が基準を超えているため不許可になったから

その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

【ポイント】修学支援新制度の授業料免除と給付型奨学金の認定要件（基準）は同一です。

給付型奨学金の認定要件を満たさない学生、対象外となっている学生は、今回は新制度の授業料免除も申請できません。ただし、筑波大学独自の免除制度で何らかの免除を受けられる可能性はあるので、A様式1・A様式2以外の書類を大学に提出しましょう。